

1 実施方向

学校関係者評価委員会（学校評議員会）に、自己評価の結果を資料として示し、本校の自己評価が適切に行われているかどうか、また、教育活動全般における取組が適切かどうか等について評価を受けた。

2 実施日時

3月22日（水）

3 学校関係者評価の結果（所見および指導助言）

- (1) スクールミッションにはSSHとのリンクがうまく盛り込まれている。小中学校で行っているキャリア教育をまとめたものは、高校でも活用可能であると考えます。
- (2) 生徒募集に関しては、どの学校も苦労しているように感じる。学校のオリジナリティを打ち出し、発信して欲しい。
- (3) 教室にエアコンを入れた経緯は、夏の合宿を校外でしなくてもよいという側面もあった。合宿がなくなったことは本来の形になったのではと考える。夏に、学校で環境を変えることなく学習ができるため、生徒の学力の向上に努めて欲しい。
- (4) 広いところで活躍してほしいという思いもあるが、長崎を大切にすることも育ててほしい。
- (5) 生徒はいい挨拶ができています。
- (6) 来校するとき、すべての生徒が自分から挨拶してくれた。
- (7) バスの中では、リュックを前に持っており、席も譲ろうとしている。バスマナーは以前より良くなっていると感じます。
- (8) 校則については、生徒に考えさせることも勉強になると考える。そうすることで、違反をする生徒も減っていくかもしれない。
- (9) 中学校の校則は、高校の動きを見ながら考えている面もある。今後、中高間で協議する必要があるかもしれない。
- (10) 生徒を一つの方向に縛り付けるのではなく、生徒の意見を聞きながら物事を進めて欲しい。
- (11) 18歳成年について、生徒を大人として見る部分が、今後は必要である。スマートフォンの使い方についても、生徒が納得できる方法を検討する必要がある。
- (12) スマートフォンの使い方に関しては、中学校でも悩みの種である。メディア指導員に来校していただき、学期に1回の研修を予定している。
- (13) 中学校では、ブレザーの学校は女子のズボンを用意することになった。今後はニーズも含めて検討する必要がある。
- (14) 悩みを抱える生徒に対しては、生徒の特性を踏まえた対応を考えていく必要がある。家庭環境等が原因で学校に来ることができない生徒への対応も検討しなくてはならない。
- (15) 支援が必要な生徒については、気を付けて見ていただくとありがたい。
- (16) 多様な生徒、多様な職員がいると思うが、その多様さを活かしながら学校運営を進めてほしい。

- (17) 中学校も発達障害を持つ生徒の割合が増加している。南高のような支援体制があるとありがたい。
- (18) SSHについて、全校生徒に課題研究の経験をさせることは大切だと考える。文理協働についても、今後の南高の特徴として推進してほしい。
- (19) SSHを軸に、南高の魅力化を図ってほしい。そしてそれを大学の学びにつなげてほしい。
- (20) 理科の実験など、中高の連携・交流が図れないかと考えている。
- (21) 自治会の掲示板に南高新聞を張り出している。部活動でのいいニュースを期待している。
- (22) スクールバスの減便については、バス会社と話し合っ、生徒の不利にならないようにしてほしい。
- (23) 台風の時、体育館に避難させていただいた。地域を代表してお礼を述べさせていただく。
- (24) 学校評価の見せ方については、平均の数値だけでなく、それぞれの数値の割合を棒グラフにするなどすると分かりやすい。

以上の指摘を受け、以下の確認・対応を行った。

- (1)～(4) 育成したい資質ベースで、行事や授業、SSH活動をリンクさせ、将来の進路選択に対する視野を広げさせる取組を行うことで、生徒の未来デザイン力を高め、本校の魅力化を図っていく。
- (5)～(7) 校内外で問題事案が発生した場合、即座に対応に当たるとともに、マナー等の事案に関しては全校生徒に問題提起し、改善すべき点について生徒自身に考えさせるようにしている。また、生徒指導便りについては、毎月本校のホームページにも掲載している。
- (8)～(9) 校則の改定については、生徒たちと話し合いながら進めており、今後もその方向で進めていく。
- (11)、(12) スマートフォンの使い方に関しては、生徒だけでなく保護者にも理解してもらえるよう、研修の場を設けたい。
- (13) 制服の改定については、今後委員会を起ち上げ、職員、保護者、同窓生、そして生徒の意見を取り入れながら進めていく。
- (14)～(17) 年々、配慮が必要な生徒が増加しているが、SCやSSW、児童相談所等の外部機関とも連携を図りながら対応していきたい。
- (18)～(20) SSHは、新たに5年間継続することが決定した。中高の連携も含め、南高の魅力化につながるように、計画・実施していきたい。
- (21)～(24) 地域との連携、スクールバスの問題、働き方改革の取組や南高の魅力づくりとしてのカリキュラム編成、成年年齢引き下げに伴う対応等、本校にとって喫緊の課題であり、検討を進めている。